



決算特別委員会質疑

10月7日に決算特別委員会で質疑を行いました。決算質疑は3年ぶりとなります。通告した質疑項目は右記のとおりです。

決算特別委員会における質疑の目的は、前年度の決算調書に基づき、事業が適正に行われたか、また、予算が効率的、効果的に執行されたかを審査、確認することにあります。

一方で、決算審査のもう一つの重要な意義として、前年度に実施した事業の成果を確認しつつ、積み残された課題や改善すべき問題点をあぶり出して、今年度の事業の中で速やかに修正し、また、次年度の事業予算に的確に反映させるという目的があります。これはタイミング的に、本定例会の会期中(概ね10月末まで)に指摘しておかなければ、新年度予算には間に合いません。このことを前提として質疑に臨みました。

以降、当日の質疑の一部を抜粋してご報告します。全体の質疑答弁は議会の会議録をご覧ください。

1 歳入について

(1) 市税歳入について

2 徴税费について

(1) 市税徴収業務経費

3 企画費について

(1) 長期総合計画推進業務経費

(2) 地方版総合戦略推進業務経費

3. 企画費について (1)長期総合計画推進業務経費、(2)地方版総合戦略推進業務経費

◆北山 市民まちづくりアンケートについてお尋ねする。第7期総合計画を推進させるに当たり、市民ニーズの変化を的確に把握し、迅速に施策や事業に反映、展開するため、これまで5年に一度実施していたまちづくりアンケートが令和3年度からは毎年度実施されることとなった。今般の決算質疑に当たり、この内容と結果を確認させていただこうと資料要求をしたところ、提示されたのが、令和3年度の市民意識調査報告書だったので拝見した。市民ニーズの把握ということで、市政に対する不満とか要望を聞く設問が一つくらいは入っているのだろうと思っていたが、そのような項目は一切なかった。この令和3年度市民意識調査報告書の結果から、市がつかめた市民ニーズとは何か。市民ニーズの把握のためのアンケートではなく、これは単なる定住意向調査にしか見えない。市民が千歳市に住み続けたいと思う条件、そのために必要な施策や改善すべきポイントを探りたいのであれば、なぜアンケートの中で市民の生の声を聞かないのか。

◎品田企画部長 令和3年度市民意識調査の調査項目は、千歳市への愛着や誇りのほか、住み心地や定住意向、住み続けたい理由など、市民の皆様が持つ、千歳市に居住することについての現在の意識や考え方についての設問を取り入れた構成としている。市民意識調査の設問は、市民にとって簡便に回答いただくことを念頭に設定したものであり、市民からの自由意見などの詳細な調査につきましては、5年に1度実施する市民まちづくりアンケートで確認をすることとしている。

◆北山 このアンケートから推測できるのは、社会増減のうち、千歳市民の市外への転出意向の有無、千歳に住んでいる方が市外に行くつもりかどうか、そのまま千歳に住み続けるかどうかは、これで分かるけれども、肝心の社会増の拡大につながる、市外居住者が当市へ転入したいと考えているかどうかという部分については、何か調査を行っているのか。

◎品田企画部長 現在、実施している移住促進の取組としては、道内、首都圏、関西圏など、全国で開催している移住相談会などに出席をして、本市の魅力や季節の特徴、交通、子育て、生活環境などの情報を紹介しながら対面で移住相談を実施している。また、オンラインでも、土日を含め、相談者の希望に合わせて移住相談を行っているが、こういった移住相談の場を通じて、市外の方の意向なども確認を行っている。

- ◆北山 移住相談会に出展した中で、実際に千歳市内への転入につながったケースというのはどのぐらいあるか。
- ◎品田企画部長 手元に詳細な資料はないが、一定数移住につながった案件はある。
- ◆北山委員 いずれ、その点も伺いたいのので、今後、数字のほうを把握しておいていただきたい。アンケート結果では千歳に住み続けたいという回答が全体の8割を占めているが、例えば持家のある比較的高齢の市民と賃貸住宅等に住んでいる若年層の市民では、意向がかなり異なるのではないかと。すなわち、住み続けたいという回答の中には、持家もあって今さら動く気にもなれないので、このまま千歳に住み続けるしかないかなという定住意向もあるのじゃないかというふうに考えるが、そのような居住実態や意識の相違は、このアンケートの中では無視しても構わないというふうにお考えか。また、千歳市が考える定住者の定義として、どのような方で、何年ぐらい住んでいる方を定住者の定義として捉えているか。
- ◎品田企画部長 持家や賃貸など居住に関する設問につきましては、おおむね5年に1度実施しているまちづくりアンケートの中で、そういう設問を設けて確認を行っている。また、本市における定住者の捉え方としては、本市の住民基本台帳に登録されている方と考えている。また、アンケート調査の中で、今の場所に住み続けたい、市内の別の場所に移りたいと回答された方を定住意向のある方と捉えている。
- ◆北山 3月の代表質問で、私が千歳市からの転出者がどのような理由でどこに向かったと考えられるかという見解をお尋ねした際の市長御答弁では、確認することができないということであった。しかし、千歳市が選ばれる街となるためには、千歳市から転出していった元市民に、なぜ千歳市を出て行くことになったのか、直接尋ねることが最も的確な課題の把握につながるし、必要な施策のチョイスにおいても、かなりヒントを得られるのではないかとこのように思う。アンケートの設問11にある周辺5市に転出した方だけでも十分だが、千歳市から転出しなければならなかった理由を尋ねるアンケートを実施することを提案したい。
- ◎品田企画部長 本市では第7期総合計画を策定するタイミングに合わせて、令和2年度に、本市に転入または本市から転出された方に対して任意のアンケートを実施している。(中略)こういったアンケートについては、あくまでお願いをした方から任意で回収しているため、回収数としては限られたものになるが、今後も本市に住み続けていただけるよう、より多くの情報を収集して、どのような分析が必要かについては、引き続きよく検討したい。
- ◆北山委員 そのようなアンケートを任意で取られているということは知らなかったが、その内容については開示できるのか。
- ◎品田企画部長 今回の集計結果については、総数としてアンケートで520件あり、個人情報に限ったものは当然お出しできないが、今言った割合的なものについては問題ないと考えている。
- ◆北山委員 非常に興味のある内容なので、ぜひ、後日お知らせをいただきたい。

市政や議会に関するあなたの疑問やお困りごとをぜひ北山けいたにお聞かせください。



メール: mail@kitayama-keita.com

ホームページ: <http://kitayama-keita.com>



私、「北山けいた」は、「公正・公平」な社会と、お子様からお年寄りまですべての世代が笑顔で生活できる環境の形成を目指しています。皆さまの市政に対する素朴な疑問をご遠慮なくお寄せください。また、市民参加型の市政運営を目指して、様々な市民活動も積極的に支援しております。

お問い合わせは上記のメールからお願い致します。



ちとせみらい通信は私の想いを届けるかわら版です。